

広報で振り返る



# 2025年の主な出来事

- 1月
  - ▶拡大新生児スクリーニング検査費用助成を開始
  - ▶証明書コンビニ交付サービスの料金を改定
- 2月
  - ▶新たな産業団地開発に向けエントリー企業の募集を開始
  - ▶さとぶろ。機構が設立
- 3月
  - ▶小説『安曇野』が復刊【写真①】 お披露目を開催
  - ▶8人の高校生をクラムザッハへ派遣【写真②】
  - ▶本陣等々力家の再生・活用に向け民間提案協定を締結
- 4月
  - ▶福祉医療給付金 18歳までの窓口負担を無料化
  - ▶第1次教育振興基本計画を策定
  - ▶こども計画を策定
- 5月
  - ▶安曇野ナンバー交付開始【写真③】
  - ▶安曇野スポーツフェスティバル 2025 を開催
- 6月
  - ▶第11回信州安曇野ハーフマラソンを開催
  - ▶穂高鐘の鳴る丘集会所がリニューアルオープン
  - ▶IRF WORLD RAFTING CHAMPIONSHIP 2025 日本代表選考レースが前川で開催【写真④】
- 7月
  - ▶戦後 80 年平和事業を開催
  - ▶高齢者補聴器購入費用補助を開始
  - ▶三股登山口へのバスの実証運行を開始
  - ▶三郷東部認定こども園しゅん工
- 8月
  - ▶オープンファクトリーを初開催【写真⑤】
  - ▶国スポ・全障スポ市実行委員会設立総会第1回通常総会を開催
  - ▶安曇野市美術館がリニューアルオープン
- 9月
  - ▶戦没者追悼式と被爆ピアノ・被爆樹コカリナ平和祈念コンサートを開催
  - ▶水で結ばれた暮らしを 2025 大阪・関西万博で PR
  - ▶市制施行 20 周年記念式典【写真⑥】をあづみの市民活動フェスタ 2025 と同時開催
- 10月
  - ▶広報あづみの 市制施行 20 周年記念号を発行
  - ▶アーバンスポーツフェスティバルを初開催
  - ▶共生社会×文化芸術フェスタを開催
  - ▶中学生キャリアフェスティバルを開催
  - ▶太田寛市長再選・市議会第6期発足
- 11月
  - ▶豊科中央児童館がリニューアルオープン
  - ▶太田寛市長が逝去



①



②



③



④



⑤



⑥

## 略歴

- 1956年9月 堀金烏川生まれ  
松本深志高等学校、  
京都大学法学部を卒業
- 1979年4月 長野県庁入庁  
県口サンゼルス駐在員、長野オリ  
ンピック冬季競技大会組織委員  
会広報課長、県商工労働部長、総  
務部長などを歴任
- 2015年2月 長野県副知事就任
- 2021年10月 安曇野市長就任
- 2025年10月 安曇野市長に無投票で再選



# 太田寛 市長 逝去

11月28日、太田寛市長が享年69歳で逝去されました。生前の多大なるご功績をしのび、謹んで哀悼の意を表します。市長は本年10月に再選を果たし、二期目の市政を踏み出した矢先での旅立ちとなりました。

令和3年10月の就任以来、県庁時代に培われた幅広い人脈を生かし、安曇野の知名度向上やブランド価値の強化を力強く推進され、市の発展と福祉の向上に尽力されました。

JR東日本と連携した「安曇野市×あずさマルシェ」では、自ら店頭に立って農産物のPRを行い、生産者との絆を深めると同時に、安曇野の魅力为全国へ発信されました。さらに、小説『安曇野』の復刊実現や安曇野ナンバーの導入など、市と地域のブランド価値向上につながる数々の施策を実現されました。また、18歳までの医療費窓口負担の無料化、公立園全園の芝生化、インクルーシブ遊具の設置など、子どもたちが安心して健やかに成長できる環境づくりにも力を注がれました。

このほかにも市長は、「住んでよかったゆたかな安曇野」の実現に向け、多くの政策を立ち上げてこられました。安曇野を心から愛した太田市長の思いを受け継ぎ、安曇野市を次のステージへと押し上げるため、職員一丸となって市政を着実に進めてまいります。



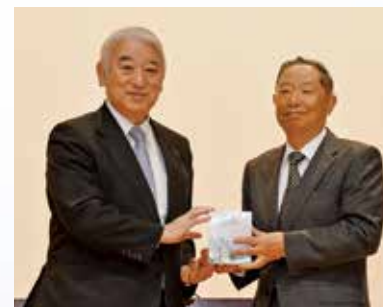
2021年10月23日に初登庁。1期目がスタート



安曇野市×あずさマルシェでは新宿駅構内で自ら安曇野の魅力をPR



オール安曇野産の農産物を使った安曇野フルコースを考案



クラウドファンディングで資金を募り小説『安曇野』を復刊



池田町、松川村、生坂村の賛同を得て安曇野ナンバーを交付開始



豊科駅開業110周年記念セレモニーで1日駅長を務める